

5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第4時(9時間取り扱い)

三角形の面積を求める
見通しを持つことができる!

本時の授業の概要

前時までに学習した長方形や平行四辺形の面積の求め方をもとに、三角形を二つ合わせて平行四辺形にしたり、平行四辺形に変形したりして、三角形の面積を求める方法を考える。

本時の目標

三角形の面積のいろいろな求め方を考えることができる。

活用場面

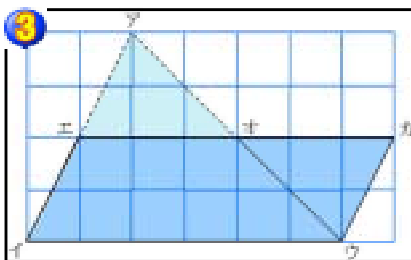
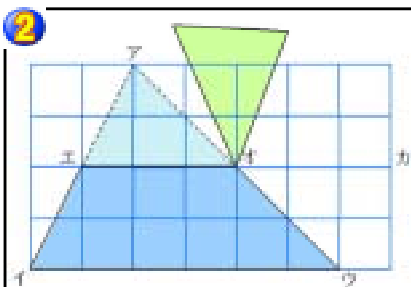
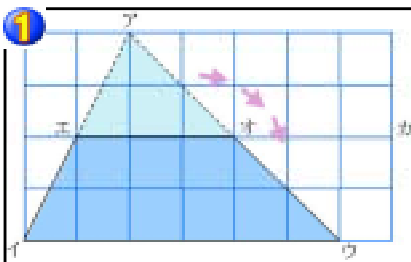
課題発見

見通し

一般化

まとめ

習熟



どうすれば三角形の面積を求めることができるか確認する

① T : 三角形を今まで学習した図形に変形して面積を求めましょう。どんな図形に変形できそうですか。

C : 正方形・長方形

C : 平行四辺形

T : どうすれば、長方形や平行四辺形にすることができますか

C : 真ん中を切る

C : 移動する。

三角形を切って移動し、平行四辺形に変形するという見通しを持つことができる。

② T : どこをきって移動すればいいですか。

C : (実際にさしながら) エオの部分

T : 切ってきた小さな三角形をどうすればいいですか。

C : 回転して移動すれば、平行四辺形にできる。

C : できた平行四辺形の面積が、今回求める三角形の面積になる。

T : 面積を求めてみましょう。

【ワンポイントアドバイス】

最後までデジタルコンテンツを見せるのではなく、途中で止めながら、児童にどんどん発言させ、発見する喜びを味わわせたい。

すべての児童に見せるのではなく、見通しの持てない児童だけに見せることも1つの方法である。

【サイト情報】

http://kids.gakken.co.jp/campus/academy/amagasaki/h13-14contents/vol1/p92_c.html

(尼崎デジタルコンテンツ研究会)